



10
Oct. 2017
No.747

日本初の産金地に力強く舞う桜――

笑！感動！

運動会開催



9月10日(日)に、涌谷スタジアムを会場に、第39回町民運動会が開催されました。今回も、各行政区の威信をかけて、多くの町



①元気いっぱい駆け抜けた未来の大物たち②お母さんと一緒だからこぼれる満面の笑み③法被と鳴子が似合ってる④今年から始まった西・東・箕岳対抗綱引き。今年は東地区が圧勝⑤見た目よりも実はハードなコミュニティづくり⑥女性でも大きな口で地域のためにがんばります⑦今年の涌一小マーチングバンドは大人っぽい⑧何歳になっても負けたくない気持ちは一緒⑨応援を背に一生懸命バトンをつなぎます⑩町民が一堂に会す場だから交通安全と健康をしっかりと啓発⑪今年から男女混合の年代別リレー。地区の威信がかかってます⑫東京オリンピック並みの盛り上がり誓った選手宣誓



躍動！爆笑

町民運動

民の皆さんが
場しました。
会場を駆け抜
ける選手の姿に、
笑いあり、感動
ありのスポーツ
の秋にふさわし
い大会となりま
した。



参加全行政区の
皆さんの
素敵なスマイルです





涌谷町交通死亡事故ゼロ1,000日間達成 宮城県警察本部長「褒状」伝達式

交通死亡事故ゼロが1000日間を達成 宮城県警察本部長から褒状

涌谷町では、9月5日(火)をもって交通死亡事故ゼロが連続1000日間を達成しました。

このことを受け、9月14日(木)に宮城県警察本部長からの褒状が青山交通部長から涌谷町に伝達されました。この記録の達成には、交通安全協会をはじめとした関係機関の皆さんや、日頃から交通安全に配慮いただいている地域の皆さんの協力があったからこそです。記録が継続していくよう、引き続きご協力をお願いします。



がん征圧活動の功績を表彰 久道茂氏が朝日がん大賞を受賞

9月8日(金)に、涌谷町出身で現宮城県対がん協会会長の久道茂氏が、EBM(科学的根拠に基づく医療)の手法に基づき、その有効性の有無や大きさを明らかにし、日本のがん検診の方向性に明確な指針を示すとともに、宮城県における地域がん登録を利用した大規模疫学研究も推進し、日本のがん疫学研究の発展に大きく寄与されたとして、がん征圧活動の功績者を表彰する朝日がん大賞を受賞されました。このたびの受賞、誠にありがとうございました。



災害時におけるLPガス等の供給協力に関する協定締結式

災害時におけるLPガス等の供給協力 宮城県LPガス協会と協定を締結

8月31日(木)に、涌谷町が開設する避難所などに、LPガスの供給および付随する資機材の調達を目的とした協定を涌谷町と一般社団法人宮城県LPガス協会、宮城県大崎地区LPガス協議会の三者で締結しました。

大規模な災害が発生した場合、避難した人は一定期間、避難所で生活を送ることになりますが、ライフラインが途絶えても安定的に燃料と資機材が供給されることで、温かい食事など、十分な暮らしを送れるようになります。



災害時における水道の 応急活動に関する協定締結式

災害時における水道応急活動への協力 湧水会と涌谷町が協定を締結

8月31日(木)に、涌谷町と涌谷町内の水道事業者で構成される湧水会が、大規模な災害時に、暮らしを支える大切なライフラインである水道施設が被災した場合、被害調査を行いながら、応急復旧に対応していただくことを目的とした協定を締結しました。

応急活動は、被害調査と応急措置に加え、修繕も含まれており、暮らしに直結するライフラインの迅速な復旧が期待されます。



夢先生が夢を持つことの大切さを教えてくれた

JFA こころのプロジェクト夢の教室開催

9月19日(火)20日(水)に、町内の小学校において、日本サッカー協会(JFA)が主催する事業「こころのプロジェクト・夢の教室」が開催されました。

涌谷第一小学校にはアテネオリンピックバレーボール女子日本代表の大山加奈さんが、箕岳白山小学校と月将館小学校にはフリースタイルフットボーラーの徳田耕太郎さんが、「夢を持つこと・夢に向かって努力することの大切さ」や「仲間と協力することの大切さ」を伝える夢先生として訪問。

2日間とも、はじめに体育館においてゲームが行われ、夢先生の指導のもと、クリアするためにはどうしたらよいかを仲間とともに考える作戦会議を何度も開き、意見を出し合い一丸となること、そして、失敗しても諦めない気持ちを持つことが大切だということをその身をもって体感しました。

教室では、テレビなどでは見ることのできない夢先生の成功と挫折にまつわるエピソードを聞き、夢に向かって努力すること、努力の中に楽しさを見出すことの大切さを学びました。児童が自身の夢について真剣に考える時間も設けられ、夢先生も親身に対話し、将来を左右するまたとない機会になりました。



3037人の先輩に敬意を表して感謝

平成29年度敬老会を開催

9月15日(金)に、勤労福祉センターにおいて、平成29年度の敬老会が開催されました。平成30年4月1日時点を基準日として75歳以上の方、3037人が今年度の対象となりました。最高齢は、協区の村上シモヨさんで108歳。

会場には、500人以上が集まり、式典では涌谷町長をはじめとしてお祝いの言葉が送られ、祝宴では涌谷保育園の園児によるダンスと歌などで、楽しんでいただくとともに、出席者同士の親交を深めていました。



月が浮かぶ夕闇に舞う稚児と獅子

妙見宮で古式獅子舞を奉納

9月2日(土)に、日向区の涌谷町指定有形文化財妙見宮(拝殿は県指定文化財)において例大祭が行われ、古式獅子舞保存会によって、拝殿前で奉納されました。

涌谷町指定無形民俗文化財の古式獅子舞は、天文21年に亘理元宗公が京都愛宕神社を分社する際に伝えられたとされます。

色とりどりの衣装をまとったお稚児さんの舞によって、夕闇に包まれる境内は、幻想的な雰囲気になりました。



地域おこし協力隊が企画！涌谷の食の魅力を発見 わくわく涌谷発見ツアー第一弾開催

9月16日(土)に、涌谷町地域おこし協力隊の丹治奈緒子隊員が企画した「わくわく涌谷発見ツアー『日本みつばち物語』」が開催されました。この企画は、涌谷町内の生産者と飲食店、そして、生活者の3者をつなぎ、涌谷町の食の魅力を磨き上げ、実際に、見て・聞いて・味わってみて、発信していくことを目的とした着地型観光企画です。

第一弾の今回は、城山公園近くの自宅で日本みつばちを養蜂する鈴木一夫さん宅で、年に一度行われる採蜜の見学と、涌谷町役場近くの「いい味、出会い だての里」さんで「日本みつばちのはちみつ御膳」を食べるという企画で進行了しました。遠くは山形県鮭川村からも参加していただき、16人定員のところ、満員御礼となりました。

鈴木さん宅では、巣箱から取り出したての蜂の巣から直接はちみつをすくい出して食べるという貴重な体験をさせてもらいながら、日本みつばちの養蜂とそのための環境づくり、生態についてお話いただきました。

だての里さんでは、日本みつばちのはちみつのほか、鈴木さんが生産した新鮮な野菜や鈴木さん手作りの万能調味料「いも床」を使った7品が提供され、舌鼓を打っていました。地域おこし協力隊によって、これからは涌谷町の黄金に輝く「食」の魅力が磨き上げられていきます。



絵本をテーマにした料理を作ろう

親子で楽しむ2017すこやかクッキング

8月19日(土)に、町民医療福祉センター栄養指導室において、涌谷保育園子育て支援センターによる「2017すこやかクッキング」が開催されました。

今年は、「絵本」をテーマに親子で楽しめる料理を作ろうと12組の親子が参加。「サラダでげんき」と「チリとチリリ」の2作品に登場する「りっちゃんサラダ」と「海のソーダゼリー」を作りました。

はじめに、子育て支援センターの先生方による絵本の読み聞かせと寸劇によって、作るメニューのイメージを膨らませつつ、食材が持つ栄養素について楽しく学びました。その後、栄養指導室に移動して、お待ちかねの親子での調理。各テーブルに配られたレシピをもとに、親子で連携して、子どもたちにも包丁を握らせ、野菜の皮をむいたり、切ったり、炒めたりと楽しんでいました。

中でも、夏らしい真っ青な海のような「海のソーダゼリー」を作る際には、目をキラキラさせながら作り上げていました。

できあがった料理を親子で囲み、会話を楽しみながら食べていました。すこやかクッキングは食育の一環として、「共食(親子で共に食事をする)」の大切さ・楽しさを知ってもらうことを目的とし取り組んでいます。

夏まつりでわくわく工作体験!

8月14日(月)に、わくや夏まつり会場内の体験エリアに工作コーナーを設けました。涌谷のゆるキャラ・城山の金さんの『くるくる金さん』を作る工作遊びで、思い思いに個性あふれる金さんを作ってもらい、たくさんの方に楽しんでいただきました。

また、風呂敷バルーン遊びも行い、小さい子から大人まで大勢にご参加いただき、おひさまスマイルならではの笑顔になれる遊びを体験してもらいました。

また来年、夏まつりの会場で、みんなでワクワク楽しみましょう。



涌谷町夏祭り
くるくる金さん作り
&風呂敷バルーン遊び



こちら-町長コラム- 町長室です

町の課題事業を民間事業者と!

涌谷町は、昭和63年「町民の健康と急速に進展する高齢化社会」に対応するために、病気予防から在宅リハビリまでのサービスを含めた「保健・医療・福祉・介護」の地域包括医療システム構想を他市町に先駆けて実施してきました。開設から29年を経て「認知症」対応などの新たな課題や、地域全体でより幅広く取り組む国の制度が示され、思案していたところ、笹岳地区の小中学校の統合による地区民の集いの場やにぎわいの減少と「笹岳地区にデイサービスセンターを」という声もあったことから、町では、旧笹岳診療所跡地を涌谷町社会福祉協議会に無償で提供することで、利用者・家族・地域住民との連携でふれあいと生きがいを育める定員18人の地域密着型通所介護施設「ゆうらいふ笹岳地域ケアセンター」の開所に至りました。従来の町主導から民間参入で、固定観念から脱却し他の施設運営・設置にも民間手法を取り入れていくこととしました。

涌谷町には障害者就労支援施設の社会福祉法人共生の森(定員40人)があり、社会的自立を支援してきましたが、見守る家族の高齢化や常時介護が必要な利用者の増加などの課題を抱え、その解決のために今回、国と県の補助事業を精査し、結果的に県の補助を受け、社会福祉法人共生の森が涌谷町障害者地域生活支援拠点整備事業の事業者として取り組むこととしました。障害者支援事業の一環として、365日24時間体制での障害者と家族の相談対応とサービス提供を定員6人の生活介護事業を30人まで拡大し、他市町の施設サービスを受けている障害者(児)を対象とした日中一時支援事業を定員16人で新規導入。保護者からの要望が強い短期入所事業を定員4人で実施。加えて身体・知的・精神障害を抱える障害者の共同生活援助にも、町と一体となって取り組む総合的な障害者支援を担う施設として、現在、城山保育所跡地に建設中です。

今後、介護施設であれ、障害者支援施設であれ、民間参入の道を開き、より幅広い行政サービスを提供していきたいと思っております。

涌谷町長 大橋信夫

しろやま さん
城山の金さん徒然日記

インスタグラム、始めました!

涌谷町では現在運用中のフェイスブックページに加え、涌谷町のさらなる情報発信の強化のために、若者を中心に、世界中で利用者が増え続けているスマートフォン向けアプリ「Instagram(インスタグラム)」の公式アカウントを開設した!近頃、テレビなどで「インスタ映えするやつ…」とかいうやつじゃ。

涌谷町の風景やグルメ、伝統、芸能などを、人々の琴線に触れる写真で発信しておく。

気になるという方は、インスタグラムアプリをお持ちのスマートフォンにインストールしていただき、「宮城県涌谷町」で検索してみてください!



写真)合わせてインスタ風フレームの作成! 見かけたらご利用ください

新生涌谷中生の真価を発揮せよ！

涌谷中学校第3回運動会
遠田郡中学校駅伝大会アベック優勝



新生涌谷中学校として3回目の運動会が開催されました。今年度から生徒全員のジャージのデザインが統一され、心だけではなく見た目も一つに。縦割りで4チームに分かれ、優勝を目指して奮闘しました。最終プログラムの伝統の「黄金の丘(旧鳳ヶ丘)」の人名文字では、真価が問われる新生涌谷中学校3年目の挑戦を「新二〇一七」として描きました。



遠田郡駅伝競走大会が、9月8日(金)に美里町南郷球場周辺を会場に開催され、涌谷中学校が男女アベック優勝を果たしました。

女子は昨年に続いての優勝で、男子は昨年の最高位2位を上回る結果となり、県大会出場を決めました。

悪天候が続いた夏休み中も、駅伝メンバーは、早朝7時から練習をし、実力をつけてきました。県大会でも、大崎の雄「涌谷中学校」の名を轟かせてきてください。

《涌谷中学校の成績》

	順位	チーム名	タイム
男子 (全10チーム)	優勝	涌谷Aチーム	1時間8分9秒(県大会出場)
	4位	涌谷Bチーム	1時間10分57秒
	5位	涌谷Cチーム	1時間12分44秒
女子 (全10チーム)	優勝	涌谷Aチーム	51分45秒(県大会出場)
	4位	涌谷Bチーム	55分12秒
	6位	涌谷Cチーム	58秒58秒